

(要旨)

定 例 経 営 会 議 ・ 議 事 録

年 度	令和4年度	回 数	第1回
日 時	令和4年4月12日	午前9時30分～10時45分	
場 所	第2委員会室(本庁舎6階)		
出 席 者	渡部市長 野崎副市長 松谷副市長 村木教育長 南部議会事務局長 平岡経営政策部長 原田経営改革・情報化担当部長 荒井総務部長 東村地域創生部長 野口市民部長 河村防災安全部長 清水環境資源循環部長 武岡健康福祉部長 瀬川子ども家庭部長 粕谷まちづくり部長 山下都市計画担当部長 大西教育部次長 欠席者:田中教育部長		
次 第	1. 開会 2. 協議事項 (1)令和4年3月定例会を振り返って 3. 報告事項 (1)目標管理制度の一時中止について (2)東村山市表彰条例に基づく市民表彰・自治表彰・特別自治功労表彰式 被表彰者の決定及び、令和4年市民功労表彰式の開催について (3)市議会6月定例会提出予定案件・所信表明事項及び原稿提出について (4)令和4年度東村山市総合水防訓練について (5)管理職緊急連絡網について 4. その他 5. 閉会		
会 議 経 過	次頁参照		

1. 開会(市長あいさつ)

おはようございます。コロナの感染状況は、増減を繰り返している状況で、まだ予断を許さない。職位を問わず職員に感染が見られるので、十分気をつけていただくよう、また繰り返しになるが、テレワークあるいはリモート会議の推進など、このピンチを働き方改革のチャンスと捉えて、ぜひ各部各課、積極的にDXの取り組みを進めていただきたい。まずは自分達の仕事からデジタル化を推進することをお願いしたい。それが最大の感染防御にも繋がるということになるので、よろしく願います。

今年度の経営方針については、4月1日の臨時経営会議で申し上げたとおり、情勢としては、さらにウクライナ情勢が深刻な状況であるし、物価上昇あるいは物が日本に入荷しないということがあるので、今年度予定をしているさまざまな事業や事務に相当影響が出る可能性があるのではないかと思います。まず経費でかなりプラスになってしまうような事業が相当あるかなと思うし、あるいは物によっては、なかなか本年度入手することができないなど、数々の変化や困難が予想されて、その都度どうするかという対応を迫られることが多々あるので、今からその場合どうするかということの内々考えながら今年1年ぜひお願いしたい。そういう意味で、変化に対応し、ということを目頭に、今年の経営方針掲げさせていただいているので、よろしく願います。まちづくりの好循環については、ぜひ各部各課の各施策・政策を連動連携させながら、1+1が2ではなくて3にも4にもなるように、そして、まちの価値の向上が人の活力の向上につながり、さらには暮らしの質の向上につながって、それがまちの価値の向上につながるような循環を起動させるべく、みんなで力を合わせて頑張っていきたい。

今日から部別課題ヒアリングで、のちほど経営政策部とは議論させていただくが、今年のもう一つの経営方針の柱が持続可能な行財政に向けてイノベーションを起こす、推進するということである。年度始まったばかりだが、この先非常に厳しい行財政状況、環境が予想されるところで、以前にも申し上げたように、今年度の当初予算では、これまで当市の収入の大きな柱だった臨時財政対策債を大幅に削減されて、その分を財政調整基金で対応しなければ毎年度の予算が組めないという状況である。基金も無限にあるわけではなく、やはり毎年取り崩していくと数年後には枯渇する危険性が見えてきている状況である。すぐに財政破綻するというような状況ではないにしても、じわじわと、この先数年後には大きな事業できない、あるいは定型的な業務も満足に予算配分ができない、そういう危険性があることを強く部長の皆さんには認識いただきたい。財政課が主導で皆さんに願いますが、コスト削減する努力を最大限お願いしたい。先ほど申し上げたような経済の不安定な要因があるけれども、場合によっては事業縮小・取り止めや、あるいは契約差金等については、ぜひ凍結して戻していただくことをこれからお願いしなければならないと思っている。今後、また経営政策部と部別課題ヒアリングで申し上げたいと思っているが、予算措置が必要な対応、流用も含めてだが、首脳部会議にかけるときには、必ず財政課とまず協議をしていただいて、その是非について財政当局ときちんと議論をしていただきたい。そして財政当局の意見も付して首脳部会議の方に、こういう事情でこういう事業を急遽実施する必要があるので、こういう予算措置あるいは流用や補正対応させていただきたいという流れ

で、首脳部会議に諮っていただきたい。また当初で組まれたからといって全額使いきるのではなくて、契約差金については残すなどの意識を持っていただきたい。まずは、そのところから本年度は、持続可能な行財政の確立に向けて進めていきたいと考えているので、各部長におかれても、もう一度しっかり財政規律を意識していただきたい。さらに今年度4月1日に申し上げているように、まだ目標額は決めてないけども一定額の経費の削減を断行しないと東村山市の持続可能な行財政の確立ができない、そういう事態だということを強く認識いただいて、みんなで頑張っってコスト削減、効率的な行財政運営に努めていただくようお願いをしたい。

今日から始まる部別課題ヒアリングは、いつも申し上げているように、部長がそれぞれの課の課題を把握して、市政全体の方向性を的確に捉えて、ご自分の思いも込めて、部の目標を設定していただきたい。今年からいわゆる目標管理は一時停止をすることとなる。ただ私もまだ協議が所管と整ってないけれども、目標がなければ内部評価もできないので、部別課題ヒアリングにおいては、ぜひ部長さんから、部としての目標は出していただきたいと思っている。部の目標と自分の仕事を各職員に関連付けていただくように部長さんたちのリーダーシップを強くお願いしたい。改めて今後の目標設定と内部評価のプロセスは整理をしていくが、部別課題ヒアリングでは、今年度の部の目標だけは明確に出していただくようお願いをしたい。

それから異動時期ということで例年、異動の直後にメンタルになるかたがいらっしゃるもので、その辺はよく観察をいただいて、異動した職員や新人さんが職場に適応できているのかどうか、よく観察をして、何かあればお声掛けをしていただくなど対応をお願いしたい。また、事務引継ぎも問題がないのか、ぜひ各部長さんには、各課ご自身の引き継ぎ、異動のあったかたについては引継ぎについて、もう一度検証していただくようお願いする。

2. 協議事項

(1) 令和4年3月定例会を振り返って

議案審議や質疑対応、会議時間などについて3月定例会を振り返って、各部の所感や課題を共有した。

3. 報告事項

(1) 目標管理制度の一時中止について

令和4年度決算から行政内部評価シートを決算資料として公表できるように検討進めているおり、行政内部評価制度と目標管理制度と異なる基準で評価をすることを回避するため、今年度はその移行期間として一時的に中止をする。なお、令和3年度までは目標管理シートを作成していることから、7月には今まで同様に結果を公表する予定である。

(2) 東村山市表彰条例に基づく市民表彰・自治表彰・特別自治功労表彰式被表彰者の決定及び、

令和4年市民功労表彰式の開催について

昨年と同様、受賞者のほかは、感染症拡大防止のため、被表彰者及び来賓のみの出席とする。

(3) 市議会6月定例会提出予定案件・所信表明事項及び原稿提出について

議会関係資料提出日程、提出予定案件等について共有した。

(4) 令和4年度東村山市総合水防訓練について

大岱小学校で5月21日（土）午前10時から12時の2時間で訓練を行う。訓練内容は、消防団が積土嚢工法等を訓練として行うほか、土曜授業の一環として大岱小学校児童60名も訓練の一部を体験する。

(5) 管理職緊急連絡網について

例年通り、緊急時の連絡体制を整えるため、携帯番号とメールアドレスの更新作業を依頼する。

4. その他

・CIO補佐官について

最高情報統括責任者の野崎副市長の補佐官として、夏目氏を最高情報統括責任者補佐官に4月1日付で委嘱した。委嘱内容は、CIOが統括する電子計算機処理の管理及び運営並びにデジタル技術の活用に関する事務について専門的な知識、経験及び識見に基づき助言をいただく。CIOや市長と打合せのほか、所管と具体的な話させていただく中で、来年度の予算・組織・職員の研修といった点でも知見を活かして助言をいただくことを考えている。

・部別課題ヒアリングについて

本日から始まる部別課題ヒアリングでは、経営政策部の管理職や監督職が同席する。必要に応じて配慮を行うので何かあれば申し出ていただきたい。

・市民スポーツセンターの指定管理者について

市民スポーツセンターの新たな指定管理が始まり、東京ドームグループから、東村山スポーツプロモーションJVに変わっている。併せて館内のマシンなど入れ替えやエントランス照明を新たに設置しており、利用者も喜ばれている。利用者増につながることを期待している。

5. 閉会